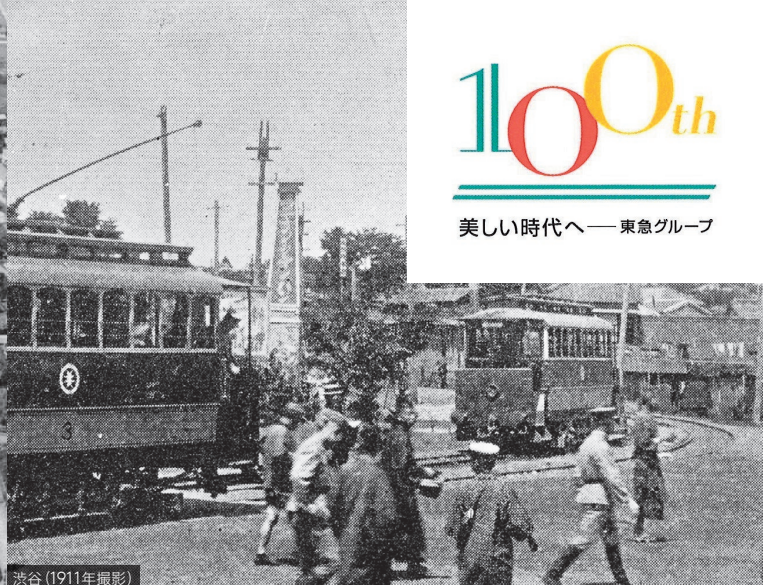


100th

美しい時代へ—東急グループ



多摩川谷 (田園調布) 住宅地 航空写真 (1932年撮影)



渋谷 (1911年撮影)



田園調布 駅舎 (2021年撮影)



現在の渋谷駅周辺の様子

美しい時代へ

第153期 株主通信

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

株主通信「美とき」に込めた想い

東急グループは、グループスローガンとして「美しい時代へ」を掲げています。このスローガンには、東急グループが美しい生活環境を創る先駆者になる決意が込められています。

本誌のタイトル「美とき」は、「美しい時代へ」の「美」と「とき(時)」を組み合わせ名付けました。私たちが「美しい」生活環境の創造へと向かう姿を「これまで・いま・これから」それぞれの「とき(時)」から紐解き、株主の皆さまへお伝えしたいという想いが込められています。

T
O
K
I
ど
き

東急グループ

証券コード：9005

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、国内のワクチン接種が進み、個人消費・企業収益ともに持ち直しの動きが見られました。しかし、その後新たな変異株による感染の再拡大や緊迫するウクライナ情勢等、今もなお先行き不透明な状況が続いています。

当期におきましては、不動産事業が好調に推移したことに加え、事業環境変化への対応と徹底した構造改革によりすべての事業で改善が見られました。この結果、営業損益は対前年で632億円回復し、315億円の営業黒字へと転換しました。赤字継続は回避するという強い意志で取り組み、収益復元の第一歩を踏み出すことができたと捉えております。

中期経営計画2年目となる2022年

新たな成長に向け、重点戦略を着実に進めていく

中期経営計画の基本方針である『変革』には、変化への対応にとどまらず、自ら新しい市場を創造するという想いを込めています。厳しい事業環境ではありますが、この瞬間をピンチではなく、新たな成長のチャンスと捉え、各施策をしっかり推し進めていきます。

鉄道事業においては、さらなる固定費削減、生産性向上のための事業構造変革など、収益の復元に向けた取り組み



を進めるとともに、ホームドアや踏切障害物検知装置の完備のための設備投資を積極的に推進してきました。一方で、テレワークなどの新しい生活様式の定着により利用者が大きく減少しており、今後もコロナ前の需要水準には戻らないことが想定されます。このような厳しい経営環境下において、今後も高水準の鉄道インフラを適切に維持・更新し、安全・安心な鉄道事業を継続していくため、2023年3月、運賃改定を実施することとしました。

また、現在、2023年3月の開業に向け、東急新横浜線開業の準備を進めています。本路線の開通により広域的な鉄道ネットワークが形成され、お客様の快適性、利便性の向上に加え、地域間の連携と活性化を図ります。

不動産事業については、賃貸事業が安定的に推移したことに加え、好調な販売事業により、2021年度の業績において大きな利益貢献を果たしました。

現在、新宿歌舞伎町では「東急歌舞伎町タワー」の整備を2023年4月の開業に向け進めています。完成すると、ホテルと映画館・劇場・ライブホールなどのエンターテインメント施設からなる約225mの超高層複合施設が誕生します。コロナ禍をきっかけに世界中で娯楽や宿泊に対するニーズも大きく変化しています。本施設の特徴を活かし、新しい時代のエンターテインメントを提供したいと考えています。

リテール事業では、百貨店事業においてお客様の新たな価値観に対応する店舗リニューアルを促進するなど店舗構造改革を進めるとともに、成長分野の一つとして注力している渋谷エリアに東横のれん街や東急フードショーなどによる「食の一大マーケット」を展開するなど、収益向上施策にも取り組んでいます。

ホテル事業においては、今後も想定される市場変動リスクの拡大やコロナ後に期待される需要回復への対応に向け、再成長を目指した抜本的な事業機能再編を行い、競争力の強化に取り組めます。

環境ビジョン2030の策定

東急線全路線の運行を再エネ由来電力100%化

今後もサステナブル経営を推進するにあたっては、利益を創出することに加え、環境課題について目標を明示しながら意欲的に推進していくことが必要です。そこで、脱炭素・循環型社会と持続可能な地域社会の実現を目指し、達成すべき環境目標とそれに向けた具体的な行動を定めた『環境ビジョン

2030』を本年3月に公表しました。本ビジョンの象徴的な取り組みとして、本年4月より、東急線全路線での運行にかかる電力を再生可能エネルギーに置き換え、実質CO₂の排出量をゼロといたしました。これにより東急線をご利用の皆さまは、CO₂を排出しない環境に配慮した交通移動ができることとなります。皆さまの日々の生活が環境に配慮した行動となりSDGsの実現につながる、そのようなまちづくりを通して、共に脱炭素・循環型社会を実現していきたいと思っています。

東急グループ創立100周年“創業以来大切にしてきた想い”をこれからも継承しながら歩みを進める

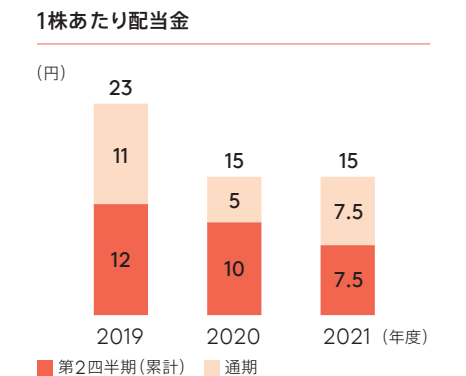
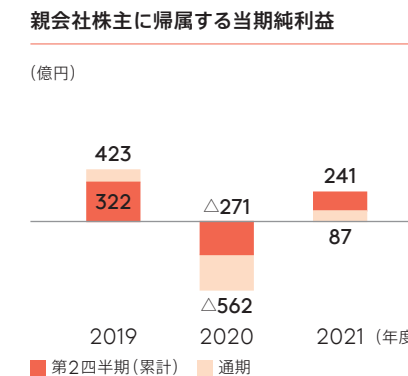
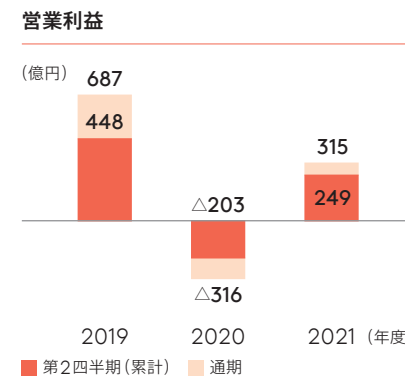
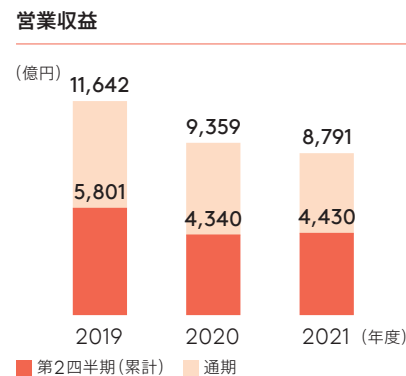
当社はおかげさまで、本年9月に創立100周年を迎えます。東急グループ100年の歴史を振り返り感じるのは、東急グループは創業以来、豊かな生活環境の整備や社会との調和、今でいうところのSDGsを大事にしてきたということです。100年前から当社の経営の本質は変わっておらず、事業を通じた社会課題の解決に取り組んできました。まさに今、コロナ禍を契機に時代の転換点を迎えていますが、創業以来受け継いできた想いを継承し、変化する生活様式、ニーズに対応しながら、今後も「美しい時代」を築きあげていきます。

これからの100年も、株主さまをはじめとするステークホルダーから寄せられている「信頼」に真摯に応え、歩みを進めてまいりますので、今後とも、当社へのご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

業績ハイライト

当事業年度は、各事業で利用者は回復したものの、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出による外出自粛の影響を受け、営業収益は8,791億円(前年同期比6.1%減)、営業利益は315億円(前年同期は316億円の営業損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は87億円(前年同期は562億円の当期純損失)となりました。

株主・投資家の皆さまへ
<https://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>



※2019年度中間配当金には、1株あたり2円の記念配当を含んでおります

TOKYU 100 Years time train

第3回 TOKYU百年絵巻

東急グループは、おかげさまで100周年を迎えます。これまでの歩みを振り返るとともに、この先の取り組みをご紹介します。

住宅地と都市部を結んで
東急グループは走りだした。

1922 目黒蒲田電鉄株式会社設立

1922年9月2日、東急株式会社の前身である目黒蒲田電鉄株式会社は、渋沢栄一らにより設立された田園都市株式会社が開発していた住宅地と東京市部を結ぶ鉄道会社として発足しました。



今のスクランブル交差点を見下ろす
空中遊覧が楽しめた。

1951 ひばり号運行開始

東横百貨店(旧東急百貨店東横店・東館)と玉電ビル(同・西館)の屋上を結ぶ「空中ケーブル ひばり号」が運行開始。今のスクランブル交差点を見下ろす遊覧を楽しむことができました。

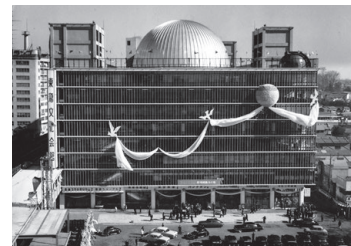


撮影:赤石 定次

プラネタリウムや映画館を擁する
「生活文化と娯楽の殿堂」が渋谷に誕生。

1956 東急文化会館開業

渋谷駅東側にプラネタリウムや映画館を擁する複合施設「東急文化会館」が完成するなど、駅周辺の開発を拡大。東急グループが目指す文化的なまちづくりの起点となりました。



のちにコギャル文化の聖地となる、
“SHIBUYA109”誕生。

1979 ファッションコミュニティ109(現 SHIBUYA109)開業

商業施設の充実によって渋谷に集まり始めていた若者に街全体を広く回遊してもらうことを目指して、道玄坂と東急本店通りに挟まれた三角地帯の再開発事業として完成しました。



自然と都市が調和した
理想的なまちづくりを目指して。

1923 多摩川台住宅地(現 田園調布)



第一次世界大戦後の好景気により東京市部では人口が急増し、住環境が悪化。欧米をモデルにした理想的な田園都市を目指して、現在の洗足や田園調布付近から開発に着手しました。

戦後の人口増加を見据えて
東京近郊での新たな宅地の供給を目指した。

1953 城西南地区開発構想を発表



戦後の深刻な住宅不足の中、東京近郊の広大な丘陵地に都心との交通幹線を敷き住宅地を開発する、現在の東急線沿線のまちづくりの礎となる「城西南地区開発趣意書」を発表しました。

渋谷の賑わいが松濤エリアまで
広がっていった。

1967 東急百貨店本店開業



株式会社東横は社名を東急百貨店に変更。高度経済成長下で事業拡大を進め、渋谷駅周辺だけでなく賑わいを面として広げるために、松濤エリアに東急百貨店本店をオープンしました。

世界の多様な文化・芸術を渋谷から。

1989 Bunkamura開業



東急の文化事業を象徴する施設として開業。音楽・演劇・美術・映画を幅広く楽しめる日本初の大型複合文化施設として、渋谷の街から多様な文化を発信し続けています。

1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000

- 1918 ● 田園都市株式会社設立
- 1920 ■ 国際連盟設立
- 1922 ● 目黒蒲田電鉄株式会社設立
- 1923 ● 多摩川台住宅地(現 田園調布)
- 1929 ■ 関東大震災
- 1931 ■ 満州事変
- 1937 ■ 日中戦争
- 1934 ● 東横百貨店開業
- 1941 ■ 太平洋戦争 開戦
- 1945 ■ 太平洋戦争 終戦
- 1951 ● ひばり号運行開始
- 1953 ● 城西南地区開発構想を発表
- 1956 ■ NHKテレビ放送
- 1956 ● 多摩田園都市開発
- 1958 ■ 東急文化会館開業(現 渋谷ヒカリエ)
- 1958 ■ 国際連合加入
- 1964 ■ 東京タワー竣工
- 1964 ● 武蔵小杉東横店(現 東急ストア 第一号店)開業
- 1966 ● 一回NHK紅白歌合戦
- 1967 ● 東急百貨店本店開業
- 1967 ● 渋谷東急ビル(1969年渋谷東急プラザに改称)開業
- 1968 ■ 東京オリンピック
- 1970 ■ 日本万国博覧会
- 1972 ■ 札幌オリンピック
- 1973 ■ 第一オイルショック
- 1977 ● 新玉川線開通
- 1979 ● ファッションコミュニティ109(現 SHIBUYA109)開業
- 1982 ● たまプラーザ東急SC、たまプラーザ東急百貨店開業
- 1983 ■ 東京デイズニールランド開業
- 1983 ● 東急有線テレビ株式会社現 イッツ・コミュニケーションズ設立
- 1985 ■ プラザ合意
- 1987 ■ 国鉄分割民営化
- 1989 ● 消費税3%導入
- 1989 ● Bunkamura開業
- 1990 ■ 東西ドイツ統一
- 1991 ■ バブル崩壊
- 1995 ■ 阪神・淡路大震災
- 1998 ■ 長野オリンピック
- 2000 ● 渋谷マークシティ開業
- 2001 ● セルリアンタワー開業
- 2002 ■ アメリカ同時多発テロ
- 2007 ■ FIFワールドカップ日本ノ
- 2008 ■ リーマンショック
- 2008 ■ 円高発表

渋谷ヒカリエ開業を皮切りに
“100年に一度”の渋谷再開発が本格化。

2012 渋谷ヒカリエ開業

“100年に一度”と言われる渋谷駅周辺再開発事業のリーディングプロジェクト。東急文化会館のDNAを引き継ぎ、文化施設を含む高層複合施設として開業しました。



「多摩田園都市」での経験を活かし、
海外都市でのまちづくりへ。

2012- ベトナム ビンズン新都市の開発

急速な経済成長が見込まれる、ベトナムのビンズン新都市。東急多摩田園都市で培ってきたノウハウをパッケージで輸出するという新たなプロジェクトが開始されました。



駅直結、渋谷最高峰から最旬の
カルチャーを発信。

2019 渋谷スクランブルスクエア開業

渋谷最高峰の高さ約230mを誇り、最上部に展望施設「SHIBUYA SKY (渋谷スカイ)」が位置する駅直結・直上のランドマーク。「最旬」のモノ・コト・トキを発信しています。



東京・神奈川・埼玉に直通する
一大ネットワークに。

2013 東横線・副都心線相互直通運転開始



東横線と東京メトロ副都心線の相互直通運転化とともに、東横線渋谷駅が地下化。渋谷～代官山間の工事は東横線渋谷駅地上駅舎の営業終了後わずか一夜のうちに完了しました。

歩いてめぐる、みどりと暮らせる「まち」。

2019 南町田グランベリーパークまちびらき



2017年に閉館した「グランベリーモール」跡地を含むエリアで、駅と商業施設・公園が隣接する特長を活かし、“パーク”として一体開発。エリア一帯を歩車分離し、バリアフリーにも配慮しています。

世界へ、未来へ

100年間取り組んできたまちづくり。これからも美しい生活環境を創る先駆者として次の時代へ、皆さまとともに、歩んでいきます。



2023 (開業予定)
東急歌舞伎町タワー

ホテル・映画館・劇場・ライブホールなどからなる高さ約225mの高層複合施設。都市観光の拠点として、国際観光都市東京・新宿・歌舞伎町のさらなる魅力向上に貢献します。



2024 (竣工予定)
渋谷二丁目17地区市街地再開発事業

渋谷ヒカリエや青山通りに隣接する地上23階建ての複合施設です。商業機能を敷地内の広場などと一体的に整備し、賑わいや憩いを創出するとともに、高層部では、駅につながる利便性の高いハイグレードなオフィスを提供します。

ホテル・エンターテインメント施設など
からなる新たな観光拠点が誕生。



(左から) 埼玉高速鉄道、東京都交通局、東京メトロ、東急電鉄、相模鉄道、東武鉄道、西武鉄道

鉄道ネットワークの広がり
新幹線駅へのアクセスも、もっと便利に。

2023 (開業予定)
東急新横浜線 新綱島駅・新横浜駅

羽沢横浜国大駅と日吉駅を結ぶ区間に連絡線を新設し、相鉄線と東急線が相互直通運転を開始。広域的な鉄道ネットワークの形成や、新幹線駅へのアクセス向上等を図ります。

より自分らしく、楽しく快適に過ごせるまち
渋谷の実現を目指して。

-20XX
100年に一度の渋谷開発

渋谷スクランブルスクエア第II期(中央棟・西棟)をはじめ、東急グループが中心となって推進する渋谷の開発は、今後も続きます。進化し続けるまち、渋谷に今後ご期待ください。



渋谷駅街区共同ビル事業者

2010

- 2010 ● 東急キャピタルタワー開業
- たまプラーザテラス開業
- 2011 ■ 東日本大震災
- 2012 ● 渋谷ヒカリエ開業
- 東急フアラザ表参道原宿開業
- ベトナムビンズン新都市の開発
- 2013 ● 東横線・副都心線相互直通運転開始
- 富士山世界文化遺産登録
- 東横線・副都心線相互直通運転開始

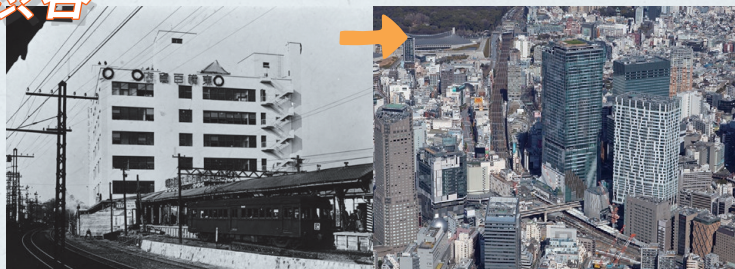
2020

- 2020 ■ 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行
- 2021 ■ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
- 渋谷スクランブルスクエア開業
- 渋谷ストリーム開業
- 2018 ● THE ROYAL EXPRESS 運行開始
- 2017 ■ 熊本地震
- 仙台空港の民間運営開始
- 2016 ● 二子玉川ライズ 全体開業
- 2015 ● 富士山 世界文化遺産登録
- 東横線・副都心線相互直通運転開始

東急沿線の 今と昔

これまでの100年、沿線を中心にまちづくりを進めてきた東急グループ。本ページでは、時代とともに変化を遂げた当社線沿線のまちを、写真を通して振り返ります。

渋谷



(左)1934年：東横百貨店開業時の渋谷駅 (右)2019年：渋谷空撮

今から約90年前の1934年、渋谷駅前に東横百貨店が開業し、都心と郊外を結ぶ乗換駅だった渋谷が今日のように発展する契機となりました。

現在は、地上約230mの高さを誇る渋谷の新ランドマーク「渋谷スクランブルスクエア」に加え、「渋谷ストリーム」や「渋谷ヒカリエ」といった高層ビルが立ち並んでいます。

外国人旅行者からの人気も高く、“世界の渋谷”を目指してこれからも渋谷のまちは進化を続けます。

田園調布



(左)1923年：調布駅前広場から中央通りの風景 (右)2022年：田園調布駅前

写真はどちらも田園調布駅前広場から中央通りの風景です。銀杏並木は時を経た今も変わらず、田園調布の景観の一部として愛されています。

たまプラーザ



(左)1966年：たまプラーザ駅前 (右)2021年：現在の様子

1980年代、テレビドラマの舞台として脚光を浴びたたまプラーザ。2010年の「たまプラーザ テラス」開業を経て、駅周辺はさらに魅力的なまちの玄関口へと生まれ変わりました。“次世代郊外まちづくり”の拠点として今も進化を続けています。

二子玉川



(左)1955年：二子玉川駅前 (右)2021年：二子玉川駅前

かつての二子玉川駅付近には、「二子玉川園」という遊園地がありました。再開発を経て、現在は二子玉川ライズが駅に隣接し、住みたいまちランキングでも常に上位にランクインするなど沿線の中でも人気の高いまちとなっています。

南町田

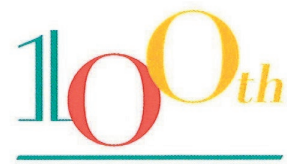


(左)1976年：南町田駅 (右)2021年：南町田グランベリーパーク駅

南町田駅は、町田市と当社の官民連携による再開発により、鶴間公園と商業施設、駅が一体化した「南町田グランベリーパーク」へ進化を遂げました。また、2019年のグランベリーパーク開業とともに、駅名も「南町田」から「南町田グランベリーパーク」へ変更となりました。

Special News

100周年記念企画、始動します!



美しい時代へ——東急グループ

ありがとうを、
ずっとずっと。

東急グループは、おかげさまで2022年9月2日に100周年を迎えます。「感謝と未来」をコンセプトに、皆さまへ日頃の感謝の気持ちを込めて、100周年を記念した様々な企画をご用意します。

《100周年ロゴマークについて》

安全・安心や環境を象徴する緑色の2本の線(レール)と数字の「1」(木々、建物)で東急グループの原点である鉄道・開発などのまちづくりを表し、東急グループのロゴカラーである赤色と、お客さまや豊かさを表す黄色で描いた2つの「0」が重なり合うことで、この先もお客さまを大切に、寄り添いながら、成長を続けていく決意を表現しています。

Pick up!

2022年4月～ 特別企画列車「東急グループ100周年トレイン」の運行を開始しました!

100周年を記念し、本年4月より特別企画列車「東急グループ100周年トレイン」の運行を7路線各1編成で開始しました。

注目ポイント ①

出会えたらラッキー! 100周年オリジナルラッピング電車

グループスローガン「美しい時代へ」のもと、支えてくださるお客さまへの感謝と次の100年に向けた想いを込めて制作した「東急100周年ロゴマーク」。そのロゴマークのデザインをモチーフにした車体ラッピング電車です。目黒線、田園都市線、東横線、大井町線の4路線それぞれに1編成ずつ運行しているレアな車両となっています。皆さまのご乗車をお待ちしています!

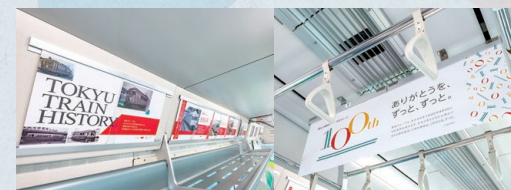


「東急グループ100周年トレイン」外観

注目ポイント ②

車内にも特別広告を掲出中!

すべての100周年トレインでは、車内が100周年特別仕様となっています。1922年の目黒蒲田電鉄株設立から今日に至る歴史と、それに連なる今後の取り組みや東急線を走ってきた歴代車両を紹介するポスターシリーズなどを掲載しています。100周年トレインにご乗車された際は、是非ご覧いただき、東急グループの歴史を感じてみてください!



「東急グループ100周年トレイン」車内の様子

出発式の様子

東急グループ100周年トレインの運行開始日である4月10日(日)に、“まちづくり”の原点である田園調布駅において、出発記念セレモニーを開催しました。東急グループ代表 野本、東急株社長 高橋、東急電鉄株社長 渡邊(2022年4月10日時点)をはじめ、約30名の地域住民の方々にもご参加いただき、地元にお住まいのお子さまへの記念きっぷの贈呈、テープカットを行いました。たくさんの方に見守られながら、東急グループ100周年トレインは次の100年へ向け出発しました。



出発式の様子

今後も100周年を記念した企画やイベントを実施予定です。是非ご注目ください!

Special Present Campaign

株主さま特別プレゼントキャンペーン

抽選で

100組

にプレゼント!

東急グループ創立100周年を記念し、株主さまに特別なプレゼントをご用意しました。アンケートにご回答くださった方から抽選で、A~G賞いずれかのご招待券をプレゼントいたします。

A賞

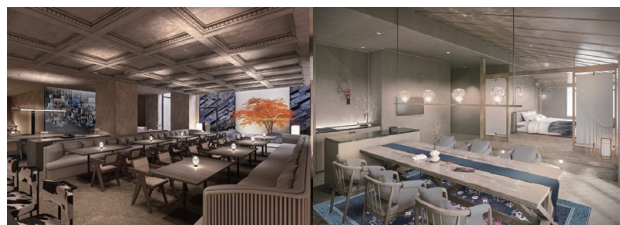
1組 2名様

THE HOTEL HIGASHIYAMA by Kyoto Tokyu Hotel

ご夕食付宿泊券: higashiyamaスイート1泊 レストラン「ナノイチ」ディナーコース

(有効期限: 2022年12月22日)

「THE HOTEL HIGASHIYAMA by Kyoto Tokyu Hotel」は2022年7月7日に開業を迎えます。和の美しさと現代的な機能性の両立を追求した客室、京都に根差した奥深く多様な文化に触れられる体験アクティビティ、文化施設や寺社仏閣が集積する好立地。旅の拠点となるこのホテルならではの時間をお楽しみいただけます。



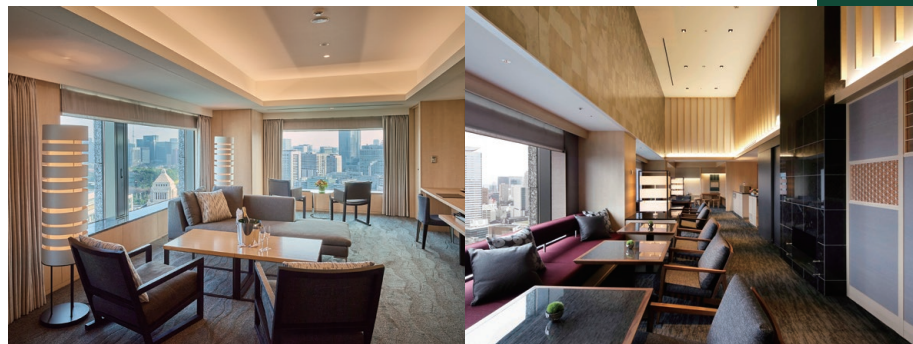
B賞

1組 2名様

ザ・キャピトルホテル 東急ご宿泊券(エグゼクティブスイート1泊)

(有効期限: 2022年12月22日)

27階から29階の高層階に位置するコーナースイート。ゆったりとしたソファでお寛ぎいただけるリビングルーム、広々としたベッドルーム、そして高層階ならではのビューが広がります。クラブフロアでは、専用ラウンジ「The Capitol Lounge SaRyoh」のご利用など、おひとりおひとりのご滞在に合わせた、きめ細かなサービスをご提供いたします。



C賞

1組 2名様

東急ジルベスター
コンサート ご招待券

開催日: 2022年12月31日

毎年大晦日にBunkamuraで行われ、当社が特別協賛しているクラシックカウントダウンコンサート「東急ジルベスターコンサート2022-2023」の特別ご招待券をプレゼント。(コンサートの詳細は、当選者の方へ別途ご連絡いたします)
※こちらの賞の内容は変更になる可能性があります



©K.Miura

D賞

20組 40名様

セルリアンタワー東急ホテル
日本料理「Japanese Cuisine 桜丘」
和風アフタヌーンティー ご招待券

(有効期限: 2022年12月25日)



※イメージ

E賞

22組 44名様

東急ホテルズギフトカード
(10,000円/1組)

全国各地の東急ホテルズで、ご宿泊、ご飲食およびその他付帯施設(各ホテル宴会場でもご利用可能です。詳細は各ホテル宴会受付担当までお問い合わせください)のお支払いにご利用いただけます。



F賞

25組 50名様

SHIBUYA SKY ご招待券

(有効期限: 2023年3月末)



G賞

30組 60名様

横濱中華街 旅グルメきっぷ

(有効期限: 2023年3月末)



応募方法は次ページへ >>> SEE NEXT PAGE

100組にプレゼント!

Information

A~G賞いずれか1つのプレゼントを選んでご応募ください。

(有効期限が異なりますので、確認のうえご応募ください)

応募〆切: **2022年7月25日** (はがきの場合は同日消印有効)

当選結果のご案内: 当選者さまへのプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。(2022年8月上旬頃発送予定)
(当選者さまにお送りするチケットに関しまして、期限延長等の対応は行っておりません。あらかじめご了承ください)

応募方法

Webサイト



下記URLまたは二次元バーコードからご応募ください。

株主イベント・キャンペーン 応募Webサイト

<https://www.tokyu.co.jp/kabunushievent/index.html>



当社ホームページのトップページからは以下のようにアクセスいただけます。

東急HOME > 株主・投資家の皆さまへ > 株主の皆さまへ > (お知らせ)株主さま特別イベントのご案内

はがき



はがきに下の事項をすべてご記入のうえ、ご応募ください。

- 株主さま氏名(ふりがな) ●性別(任意) ●年齢 ●郵便番号 ●住所 ●電話番号
- 株主番号(同封の配当金計算書の右上に印字されています) ●希望するプレゼントの種類

株主さまにより魅力ある情報をお伝えるため、誌面に関するアンケートにご協力をお願いいたします。はがきでご応募の方は、はがきに回答をご記入ください。

1. 「美とき」100周年記念号の中で1番面白かった記事、読み応えがあった記事とその理由を教えてください。
2. 東急にまつわる(当社沿線、施設等)皆さまの思い出やエピソードを教えてください。(今後の「美とき」で匿名にてご紹介させていただく可能性があります。ご了承いただける株主さまのみご回答ください。)

Ex.) 親子3代ずっと渋谷に住んでいます。家族でよく東急文化会館に足を運んでいました。母にとっても私にとっても、世代を超えて思い出がたくさん詰まっている場所です。

- 送付先 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘1-8-1 CO-NIWAたまプラーザ B棟 2F
東急株式会社 セラン事務局 株主さま特別イベント受付係
- お問い合わせ先 総務グループ 文書株式担当 電話: 03-3477-6228(平日 9:30~12:30/13:30~17:00)

ご注意

- お申し込みは、お一人さまにつき1回限りです。
- ご応募に際していただいた情報は、必要な範囲でのみ利用いたします。
- 応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
- 複数ご応募された場合、応募を無効とさせていただきます。

株主優待情報

発行基準日: 9月30日
11月中旬送付
有効期限: 翌年5月31日まで

発行基準日: 3月31日
5月中旬送付
有効期限: 11月30日まで

200株以上ご所有の株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ、東急線または東急バスにご乗車いただける**株主優待乗車証**や、東急グループ各施設でお買い物・ご宿泊などにご利用いただける**株主ご優待券**をお送りしております。

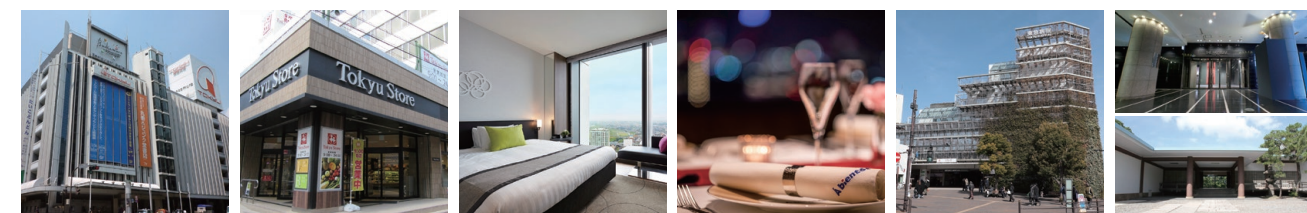
所有株式数		株主優待乗車証(きっぷ式)		選択式優待*1		株主ご優待券
				株主優待乗車証(パス券式)	東急ホテルズ 無料宿泊券	
200株以上	500株未満	2枚	—	—	—	A
500株以上	1,500株未満	5枚	—	—	—	B
1,500株以上	2,500株未満	10枚	継続保有で5枚追加	—	—	
2,500株以上	5,000株未満	20枚		—	—	
5,000株以上	9,500株未満	40枚	継続保有で10枚追加	—	—	
9,500株以上	12,000株未満	80枚		—	—	
12,000株以上	14,000株未満	10枚		電車 全線パス1枚	もしくは 東急ホテルズ*2 無料宿泊券1枚	
14,000株以上	28,500株未満	30枚		電車・バス 全線パス1枚	もしくは 東急ホテルズ*3 無料宿泊券1枚	
28,500株以上		30枚				

*1 選択式優待(宿泊券)をご希望の方は、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部までお電話でお申し込みください。0120-782-031(平日9:00~17:00)

*2 エクセルホテル東急・東急REIホテル ブランドでご利用いただけます。(ツインルーム1泊+朝食)

*3 東急ホテル・エクセルホテル東急・東急REIホテル ブランドでご利用いただけます。(ツインルーム1泊+朝食)

株主ご優待券利用店舗のご紹介 (A 200株以上500株未満、B 500株以上)



東急百貨店
お買い物
10%割引券

A 5枚 B 10枚

東急ストア
お買い物
50円券

A 20枚 B 40枚

東急ホテルズ
宿泊基本料金
30%割引券

A 4枚 B 8枚

東急ホテルズ
飲食代金
10%割引券

A 2枚 B 4枚

東急病院
人間ドック基本料金
10%割引券

B 1枚

Bunkamura
ザ・ミュージアム
五島美術館
共通招待券

B 4枚

各種制度(継続保有制度、選択式優待制度、家族合算優待制度)、
優待についての詳細は右記Webサイトよりご確認ください。

株主優待情報

https://www.tokyu.co.jp/ir/stock_bond/complimentary.html



2022年11月より株主優待内容が一部変更となります

2022年11月発送分より、株主優待内容が一部変更となります。
本ページでは、新たに変更となる優待内容についてご紹介いたします。

変更① 東急ホテルズ 株主ご宿泊優待券

株主優待使用でのご宿泊が
よりお得になります!

現在の優待内容に加え、

株主さま向けご優待料金(東急ホテルズコンフォートメンバーズに対する割引料金からさらに3%割引)を追加いたします!

これまで、各ホテルの定める宿泊基本料金からの割引としておりましたが、ホテル会員組織「東急ホテルズコンフォートメンバーズ」にご加入いただいている株主さまにつきましては、会員料金から、さらに3%割引した株主さま特別料金でのご案内を追加いたします(ホテルや時期、予約時点によって料金変動します)。

今回、本内容が新たに加わったことにより、株主さまにおかれましては、これまで以上にお得なご優待料金*にてご宿泊いただけるようになります。

*予約時点において、同一の部屋タイプ・条件により比較した際の料金

ご注意 各ホテルへ直接お電話いただいたご予約のみ有効。インターネットからご予約のプラン等では上記割引は適応となりません。

さらに! 株主優待券とコンフォートメンバーズ特典の併用で、よりお得にご宿泊いただけます。

東急ホテルズコンフォートメンバーズ

ご宿泊で、お食事で、全国の東急ホテルズのご利用を

便利に快適にする特典がいっぱいです。



主な特典

★ポイントが貯まる、使える

ご宿泊・レストラン等でのご利用金額100円(税別)毎に5ポイントを加算。貯まったポイントは1ポイント1円分としてご利用いただけます。

★チェックアウトタイム延長サービス

チェックインの際にお申し出いただければ、特別な場合を除きチェックアウトタイムを正午まで延長いたします。

★ゴールド会員・プラチナ会員

累計のポイントによりゴールド会員・プラチナ会員にランクアップ。ゴールド会員・プラチナ会員には客室グレードアップ券など、特別な特典をご用意しております。

コンフォートメンバーズへご加入いただくと、株主優待の割引+コンフォートメンバーズ特典の併用が可能となり、さらにお得にご宿泊いただけます!

★お申し込みは簡単。入会金・年会費無料!

インターネットでお申し込みいただく場合

即時入会で、会員番号が発番されます。約2週間後、カードがお手元に届きます。お申し込みの詳細は右の二次元バーコードからご確認ください。

各ホテルにてお申し込みいただく場合

東急ホテルズの各ホテルにてお申し込みください。カードはその場で即時発行いたします。



変更② 株主優待の配布を100株保有からに拡充

これまで200株以上保有の株主さまに、乗車証とご優待券をお配りしておりましたが、乗車証(きっぷ)、優待冊子(割引券等)を100株保有の方からの配布へ変更いたします。詳細は下記の通りです。

なお、継続保有による乗車証(きっぷ)追加制度は今後も継続いたします。

100株の方にも
株主優待を拡充

現在					変更後		
保有株式数	株主優待乗車証(きっぷ式)	選択式優待		優待冊子(割引券等)	株主優待乗車証(きっぷ式)	株主優待乗車証(バス券式)	優待冊子(割引券等)
		株主優待乗車証(バス券式)	東急ホテルズ無料宿泊券				
100株以上	なし	—	—	なし	2	—	A*3
200株以上	2	—	—	A*3	5	—	B*3
500株以上	5	—	—	B*3	10	—	
1,500株以上	10	—	—		20	—	
2,500株以上	20	—	—		40	—	
5,000株以上	40	—	—		80	—	
9,500株以上	80	—	—		10	電車全線バス1枚	
12,000株以上	10	電車全線バス1枚	もしくは 東急ホテルズ*1 無料宿泊券1枚	30			
14,000株以上	30	—	—	30	電車・バス全線バス1枚		
28,500株以上	30	電車・バス全線バス1枚	もしくは 東急ホテルズ*2 無料宿泊券1枚	30			

*1 エクセルホテル東急・東急REIホテル ブランドでご利用いただけます。(ツインルーム1泊+朝食)

*2 東急ホテル・エクセルホテル東急・東急REIホテル ブランドでご利用いただけます。(ツインルーム1泊+朝食)

*3 優待冊子の内容、枚数等についてはP.12をご覧ください。

変更③ 選択式優待制度の廃止

12,000株以上保有の株主さまに対し、株主さまからお申し込みいただくことで電車全線パス、電車・バス全線パスのかわりに東急ホテルズ無料宿泊券を選択いただける制度がございましたが、こちらを廃止とさせていただきます。

これまでご利用いただいていた株主さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程何卒よろしく願いたします。

会社情報

会社概要

商号 (英文名)	東急株式会社 TOKYU CORPORATION
設立年月日	1922年9月2日
本店所在地	〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
事業内容	交通事業・不動産事業・他

役員一覧 (2022年7月1日時点)

代表取締役会長		野本 弘文
取締役副会長		渡邊 功
代表取締役社長	社長執行役員	高橋 和夫
取締役	専務執行役員	藤原 裕久
取締役	専務執行役員	高橋 俊之
取締役	常務執行役員	瀧名 節
取締役	常務執行役員	堀江 正博
取締役		金指 潔
取締役		蟹瀬 令子
取締役		宮崎 緑
取締役		島田 邦雄
取締役		清水 博
監査役		島本 武彦
監査役		秋元 直久
監査役		露木 繁夫
監査役		隅 修三

お問い合わせ

東急株式会社 社長室 総務グループ

〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5-6 TEL: 03-3477-6228(平日 9:30~12:30/13:30~17:00)



2022年6月

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権: 毎年3月31日 期末配当: 毎年3月31日 中間配当: 毎年9月30日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う https://www.tokyu.co.jp/koukoku/index.html

株式に関するお問い合わせ先

(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未済株式の買取・買増の請求など)

【証券会社に口座を開設されている株主さま】
口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

【証券会社に口座を開設されていない株主さま】(特別口座の株主さま)
連絡先: 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

 **0120-782-031**

(フリーダイヤル・平日9:00~17:00)

URL: <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

東急グループのサービスに関するお問い合わせ先

東急グループお客さまご案内窓口
東急お客さまセンター

TEL: **03-3477-0109**

(平日 9:00~17:00 / 土日祝 9:00~17:00)

* 年末年始などを除きます



Printed in Japan